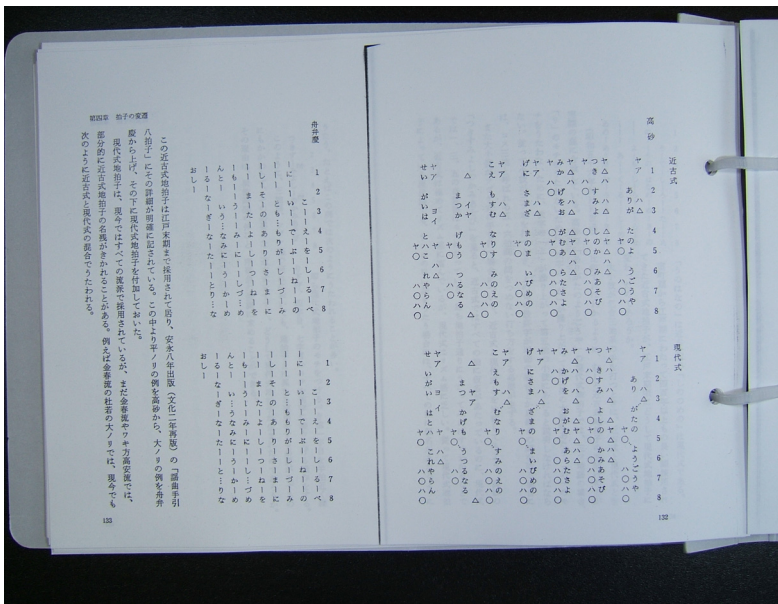
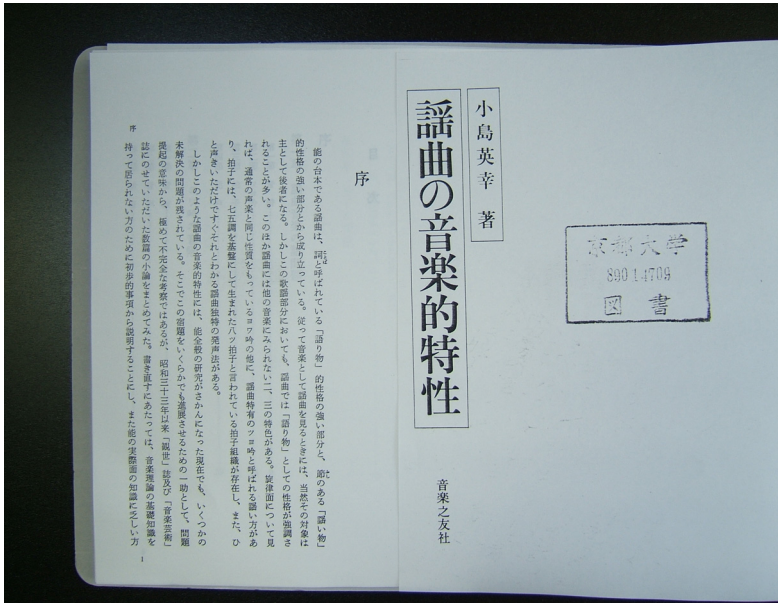


# 小島英幸 『謡曲の音楽的特性』

全五章のうち第四章が「拍子の変遷」と題される。拍子の伸縮について、鼓の手(おどり、はしり)との関係で説明している点で、実際の。また、八拍と一拍との間が伸びることを図で説明するのも実際の。本書の特徴はしかし、拍子の歴史的变化が述べられている点にある。また、近古式から現代式への地拍子変化を、演能時間の延長と関係づけるアイデアは、おそらく著者独自のものであり、これは直感的にも納得できる。全編通じて仮説に満ちている点、興味深い本である。



標題 内題…謡曲の音楽的特性

標題紙…謡曲の音楽的特性

奥附…謡曲の音楽的特性

その他…謡曲の音楽的特性(表紙、背)

著者 奥附…小島英幸

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…音楽之友社

出版年…昭和60(1985)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…一六三頁

寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考 京都大学図書館所蔵の本を複写したものである。